



初等部だより 夏休み号

鎌倉女子大学初等部

平成25年7月19日
第5号

よく遊び！よく学べ！ 健康で安全な夏休み！

部長 松本 安博

今年は、猛暑の夏休みになりそうです。ご家庭におかれましても、熱中症には、十分お気をつけいただきたいと思います。

きっと皆様に笑われる話かと思いますが、先日、数人の6年生から「先生は『ぴたごらす・・・！』を知っていますか。」と、尋ねられました。部長室へ入ってきていきなりの質問でしたので、私が「えっ。」と、返答に詰まっていますと、「ぴたごらすい・・・」と、もう一度言ってくれました。今度はためらいもなく、「知ってるよ。ピタゴラスでしょ。」と、返答しました。その時、子どもたちは少しげん顔をしていました。今、思いますと、私が知らないわけがない、いや知っているに決まっているものと善意の解釈をしてくれたようでした。

今度は私から、「ピタゴラスがどうかしたの。」と、尋ね返しますと、「明日、部長室に迎えに来ます。」と言うのです。私は、この時点では、てっきりピタゴラスについて調べたことか、または、三平方の定理かなにか数学に関係するまとめを見に来てほしいものと思い込んでいました。

そして、その翌日、約束通り子どもたちは私を迎えに来てくれました。ついて行った私がまず見たのは、教室の壁面の掲示物でした。しかし、促された場所はクラスの先生の机がある一角でした。中休みの時間でしたので、子どもたちの多くはグラウンドに出ていました。それでも教室には、10名ぐらいの子どもたちがいました。

「みんな座れ、座れ。」の聲が飛び交いました。子どもたちの興奮とは逆に、私はだんだん冷静になってきました。そして、これから何が始まろうとしているのか、子細にも気付き始めました。自分の大きな勘違いが音を立てて頭の中を駆け巡っている私に、それにも増して大きな声が聞こえました。「先生はそこです。」、指定席での見物となりました。

1. 5メートルくらいの高さからビー玉が流されました。スタート専門のスタッフがいるようです。かなりの傾斜です。今度は、水

平に作られた円い窓付きのトンネルをビー玉は流れます。ビー玉はスピードを緩め、スチール製の巻尺を伸ばして作られたレールの上を、ゆらゆら進んでいきます。ここで何度もビー玉が落下しました。早速、4名の設計者と技術者が話し合い、レールの点検と角度の修正、ビー玉の減速を指示して再度挑戦です。今度は、レールの上を無事通過、ビー玉がコップに入って下がったかと思うと、机上でスタンバイしていた別のビー玉が動き始めます。割り箸でつくったコースもありました。途中ミニカーも登場しました。滑車もかけられていました。最後は、二人のカメラマンに記念写真を撮ってもらい、あっという間に休み時間が終わりました。

この「ぴたごらすいっち」は、クラスの先生の許可を得て期間限定で作られたとのことでした。そして、後日たくさんの1年生にも披露されたとのことでした。明日の大掃除で、後片付けもしっかりされるそうです。

「遊び」ではありますが、そこには速度制御の工夫や衝突エネルギーの活用、高低変化をつけたコース設計など、いくつもの素晴らしいアイデアがありました。また、僅かの時間でしたが、一つの目的に向かい、主張と共感を繰り返す子どもたちに、自己中心性の昇華が感じられました。

私たちは、「遊び」も子どもたちにとっては、大切な学び場であることを覚えていたいと思います。子どもたち一人ひとりが「よく遊び！よく学べ！」をモットーに、この38日間の夏休みを、健康で安全に過ごすことを願っています。



「ピタゴラ装置」の一部